

瀬戸内国際芸術祭 2025 作品公募

第 2 回 質 疑 応 答

(2023 年 10 月 18 日締切り分)

瀬戸内国際芸術祭実行委員会

■制作補助費について

Q1 予算書に、アーティストフィー（アーティストの人件費）・交通費・宿泊費・託児料金・パフォーマンスアートのキャスト人件費などを計上しても構いませんか？

また、物販売上で交通費・宿泊費を補填したいと考える場合、別表で収支計画を提出したほうがいいでしょうか。

応募者が作品制作・パフォーマンスに必要なと考える費用はいずれも計上いただいて問題ありませんが、支給費用の決定は実行委員会事務局が行います。

物販計画がある場合は、その内容と収支計画を提出してください。

■制作補助費について

Q2 制作補助費はどの段階で支払われますか？

採用後に、実行委員会事務局と協議の上、金額・支払い時期を決定します。

■規定・条件について

Q3 パフォーマンスアートの場合、披露する場所を自由に移動することは可能でしょうか、それとも一箇所限定にするべきでしょうか？

提案対象場所であれば、パフォーマンスする場所を移動することは可能です。

■規定・条件について

Q4 現地の人間にパフォーマンスアートに参加してもらう場合、実行委員会にオーディションのバックアップ・補助などを頼む事は可能でしょうか？

バックアップのご相談には応じます。例えば実行委員会のウェブサイトを通じて、オーディション参加者を募集することなどは可能です。

■規定・条件について

Q5 映像作品を制作する場合、撮影期間は前年の2024年にすべきでしょうか、それとも、2025年の会期中にすべきでしょうか？

また、撮影・編集後、完成した作品を女木島名画座などで上映することは可能でしょうか？（例えば、春会期に撮影、秋会期に上映のようなパターンを想定）

会期中常時鑑賞可能な映像作品とする場合、会期開始に間に合うように制作していただく必要があります。なお、会期は会場によって異なります。

撮影・編集した作品を、女木島名画座などで上映したい場合は、それも応募時に計画として挙げてください。撮影時期、上映場所については、採用後に調整いたします。

■規定・条件について

Q6 既存の映像作品を女木島名画座で上映したい場合、長さやジャンルなどに制約はありますか？

長さやジャンルに制約はありません。

■応募期間について

Q7 応募受付期間は、第1回と第2回では、求める内容（対象の島やテーマ性）に違いがありますか？第1回で申請したほうがいいのでしょうか？

また、どちらに応募するかを選択するにはどうすればよいですか？

応募受付期間によって、求める内容、採用の対象に違いはありません。第1回に受付したもののから、順次審査を開始します。

応募を受け付けた日にちにより、第1回受付分（11月1日～15日）・第2回受付分（11月16日～30日）が自動的に決まります。

■審査について

Q8 応募受付期間は、第1回と第2回で、全く同じ内容の作品に応募することは可能でしょうか？審査員が違う等の事情がありますか？

受付期間を変えて、同じプランを複数応募いただいても、受付は1回のみとなります。いずれかの期間にご応募ください。審査は、全て北川フラム総合ディレクターが行います。

■作品設置場所について

Q9 作品提案書では、作品設置場所について、どの程度具体化するべきでしょうか？具体的な場所、建物の候補を検討したうえで応募するのか、それとも採用後に作品コンセプトに適した場所を事務局からご提案いただき、協議して決めることになるのでしょうか？

作品設置場所は、採用後に実行委員会事務局から提案の上、協議して決定します。希望の展示場所がある場合は提案書に明記してください。ただし、明記してもご希望の場所で展示できる確約はできません。

■提出物条件について

Q10 作品コンセプト、内容の説明について、英語の場合、それぞれA4用紙1/2枚にまとめるのか、それとも作品コンセプト、内容の説明をまとめてA4用紙1/2枚にまとめるのでしょうか？

英語の場合、作品コンセプトと内容の説明を、まとめてA4用紙1/2枚程度で簡潔に記載

してください。

■規定・条件について

Q11 大島には宿泊施設が無いようですが、プロジェクトに取り組むための1日の有効時間が短すぎる事が懸念されます。(フェリーのスケジュールに基づいて約4時間。)この懸念について、最新情報を教えてください。

大島には宿泊施設がないため、滞在制作は難しい状況です。高松に滞在いただいて、作品制作することをご検討ください。

■規定・条件について

Q12 ワークショップを実施する場合、一定数の参加者を集めるために、実行委員会は募集をかけることができますか？また、ワークショップが数日続く場合、宿泊費と食費は参加者負担となりますか？

瀬戸内国際芸術祭の公式ウェブサイトを通じて、ワークショップの参加者を募集することは可能です。ワークショップ参加者の宿泊費・食費は、原則参加者負担となります。

■応募について

Q13 応募フォームのウェブサイトアドレスを教えてください。

応募フォームのウェブサイトアドレスは、下記のとおりです。応募受付期間は、2023年11月1日～11月30日です。応募受付期間以外は、アクセスできません。

- 日本語→<https://setouchi-artproposals.jp/>
- 英語→<https://setouchi-artproposals.jp/en/>

■所有権について

Q14 これから始めていこうとしているプロジェクトがあり、そのプロジェクトの瀬戸内国際芸術祭バージョンを応募しようと考えています。公募要項に、「採用作品の所有権は実行委員会に帰属します。」とありますが、瀬戸内国際芸術祭バージョンのプロジェクトの所有権を実行委員会が持つという認識でよろしいでしょうか？

お見込みのとおりです。ただし展示終了後は、協議の上で所有権を返上する場合があります。

■提案対象場所について

Q15 事業者の方と交渉の上で、フェリーを借りて作品を展示することは可能でしょうか？また通常の運行の際に、フェリー内のスペースを活用して展示することは可能でし

よう？

フェリーでの作品展示の可否については、船会社との調整が必要になります。原則、募集要項に記載している提案対象場所において、提案するようにしてください。

■制作補助費について

Q16 作家の手持ちの機材は制作補助費 250 万円の対象にならないという認識でよろしいでしょうか。

すでにお手持ちの機材にかかる費用は、制作補助の対象にはなりません。メンテナンス費用などが発生する場合は、採用後に、別途相談させていただきます。

■提案内容について

Q17 自転車を利用したプロジェクト提案を検討しています。レンタサイクル等がない島に予算の 250 万を活用して、芸術祭参加者が利用出来る自転車を持ち込むことは可能でしょうか。管理や運営は作家側で行う予定です。

島を所管する自治体との調整が必要になりますので、採用後に相談させていただきます。

■提案内容について

Q18 自転車への装飾を伴う作品を検討しております。作品として用意した自転車の他に、自転車レンタル業者の方々に装飾の協力を仰ぐことは可能でしょうか。

自転車レンタル業者との調整が必要になりますので、採用後にご相談させていただきます。

■提案内容について

Q19 ロケーション（位置）を活用した AR（拡張現実感）アプリによる作品を検討しています。そこで瀬戸内国際芸術祭公式アプリを参加者が立ち上げた時の現在位置の情報を提供していただけるでしょうか？リアルタイムに近い情報更新をいただければ理想的ですが、例えば一日に一回といった少ない頻度でも構いません。

芸術祭の公式アプリを利用される参加者の位置情報を、個別に提供することはできません。

■規定・条件について

Q20 すでに制作済みの作品でも応募は可能でしょうか？

他の芸術祭等で発表されていなければ、応募いただいても問題ありません。